

お知らせ

## 生きる力をひきだす音楽

2017年2月4日(土)に生活美学研究所と音楽学部共催で第4回定例研究会

「生きる力をひきだす音楽の「遊び」」と題して研究会とワークショップを開催しました。

講師に梶原徹也氏(音楽家/サルサガムテープ/THUNDERBEAT/元 THE BLUE HEARTS ドラマー)を

お招きし、ワークショップでは楽器の制作、参加者全員によるリズムセッションをしました。



バケツ、ペットボトル、カラフルなビーズ、マスキングテープ、シール、そしてガムテープを使って楽器を作っていきます。



バケツの口の部分にガムテープを放射状に張って貼っていきます。側面はシールやマスキングテープで装飾をしていきます。



ペットボトルの中にビーズを入れていきます。  
周りには装飾をしていきます。  
これでペットボトルのマラカスの完成です。



指定討論者をしてお招きした、  
猪狩裕史氏(音楽療法士・名古屋音楽大学講師)、



森岡正芳氏（臨床心理士・立命館大学教授）にも参加していただきました。



梶原先生のドラムに合わせて音を出していきます。グループでの音出し、歩きながらの音出しなど様々な方法で音を出して行きました。



本学の音楽学部生3人がピアノとトランペットで参加し、参加者全員で六甲おろしを演奏しました。ドラムやマラカスの音色が会場中に響きわたり、体中に音を感じる六甲おろしでした。



最後に梶原先生にドラムソロを披露していただきました。迫力満載のドラム演奏でした。和気あいあいとした素敵な雰囲気の中で参加者の皆様が楽しんで音を出し、まさに生きる力をひきだしているような研究会、ワークショップとなりました。